

活用場面

B1・C2

一人一台端末を活用し、ダンスの表現方法を追求する中で、創作の手がかりと動きの向上を目指す学習。

活用したソフトや機能：動画撮影機能 意見交換 音楽再生

学 年：中学校第3学年 教科：保健体育

単 元 名：ダンス「現代的なリズムのダンス」

○ 本時について(5/9)

(1)ねらい

・体幹部を連動させることで、既習のステップに変化を加え、体全体でリズムに乗って踊ることができる。

(2)評価規準

・体幹部(首胸腰)を連動させて、振りを大きくし、身体全体でリズムを表現している。【知識・技能】

(3)学習展開

過程	学習活動	ICT活用場面
導入	1 ウォーミングアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の良かった動きや表現を動画で確認し、ポイントをつかむ。 ・様々な表現を見て自分の表現に取り入れる。
	2 全体会 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 体幹部(首胸腰)を連動させて、振りを大きくし、身体全体でリズムを表現しよう。 </div>	
展開	3 全体練習会 <ul style="list-style-type: none"> ・胸を連動させるとどんな動きになるか。(ニュージャック) ・表現のバリエーションを増やしていこう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と自分たちの表現を確認し、課題を発見したり助言したりする。
	4 チーム練習Ⅰ <ul style="list-style-type: none"> ・チームで選んだステップに変化をつける。 ・手本を手がかりにし、教え合ってポイントをつかむ。 	
	5 中間研究会 <ul style="list-style-type: none"> ・仲間のステップの模倣。課題とのズレを修正する。 	
	6 チーム練習Ⅱ <ul style="list-style-type: none"> ・体幹部の連動をさらに大きくし、8カウントの作品づくり。 	
終末	7 撮影会及び発表交流会 <ul style="list-style-type: none"> ・課題の達成具合と表現の豊かさを確認する。 	
	8 グループ反省会 <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに振り返りを行い、テキストに入力する。 	
	9 全体反省会 <ul style="list-style-type: none"> ・学習の振り返りを行い、教師の評価を聞く。 	

活用の際のワンポイント！

- ICTを活用することで、示範となる動きを確認したいときに、様々な再生方法で確認できます。
- 常に撮影し、確認を行うことで、自己の表現や動きの課題に気付くだけでなく、試技ごとに高まる自分自身の動きや表現の仕方を実感し、さらなる表現に向けて工夫しようとする学びの姿が生まれます。

実践提供校：恵那市立明智中学校